

STAR

シリンダカッタ

取扱説明書・部品表

製品コード
型

式

K71080

SCR2110

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

STARR

も く じ

ご使用になる前に	
● は じ め に	…… 1
● 安全のために必ずお守りください	…… 2
● 各部の名称とはたらき	…… 5
● 使 用 前 の 準 備	…… 6
ご使用にあたって	
● 毎 日 作 業 前 の 点 検	…… 8
● 作 業 の し か た	…… 9
知っておきたいこと	
● 定 期 点 検 と 調 整	……10
● 長 期 格 納	……12
● 不 調 の 原 因 と 処 置	……12
その他	
● 仕 様	……13
● オ プ シ ョ ン	……13
● 安 全 確 認 一 覧 表	……14

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんにご理解ください。

なお、仕様などの変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

1. 安全のため必ず守っていただきたいこと。

！ 危険 …… もし守らないと、死亡または重傷事故を引起こします。

！ 警告 …… もし守らないと、重傷事故を引起こすことがあります。

！ 注意 …… もし守らないと、負傷事故を引起こすことがあります。

2. 機械の損傷を防ぐため必ず守っていただきたいこと。

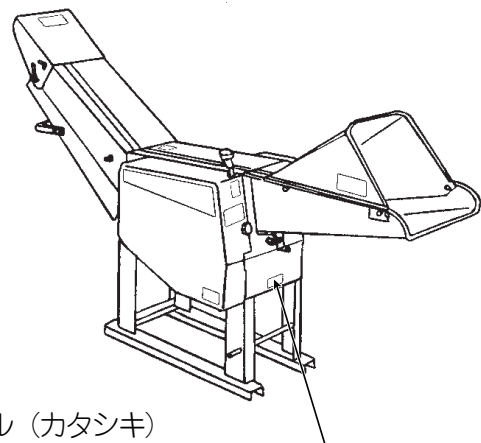
重要 …… もし守らないと、機械の故障や損傷につながります。

■ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問い合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



ラベル（カタシキ）
型式名・製造番号

！ 警告

- 本機はわら・牧草類・残幹切断用として設計されております。このほかの用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

⚠ 注意 安全のため必ずお守りください

使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

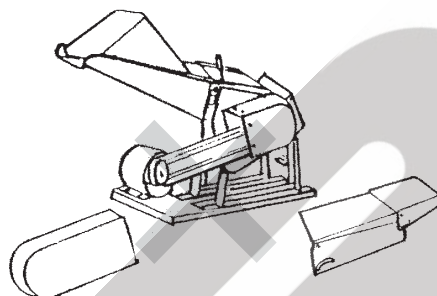
作業に合った服装



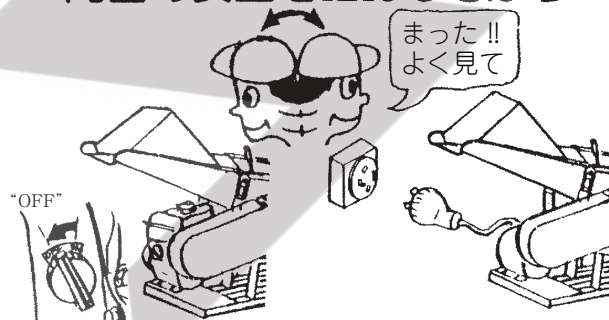
(軍手禁止)



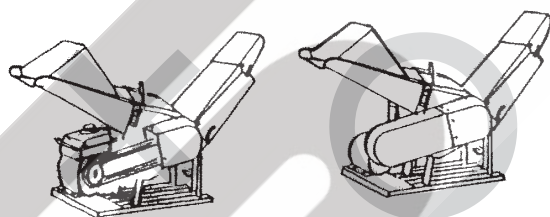
カバーは必ず取付けてから
運転



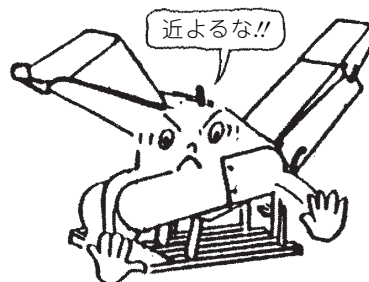
原動機の始動は
周囲の安全を確認してから



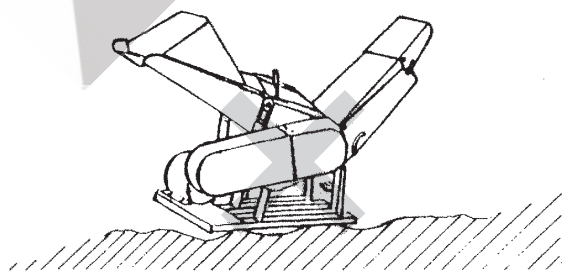
原動機とカッタ間の回転部は
必ず防護



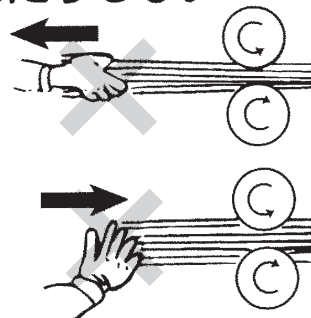
回転中は人を近づけない



設置は水平でしっかりした所

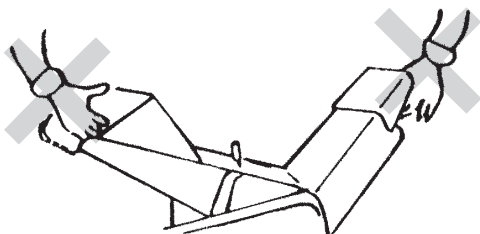


供給物を無理に引っ張ったり、
押込んだりしない

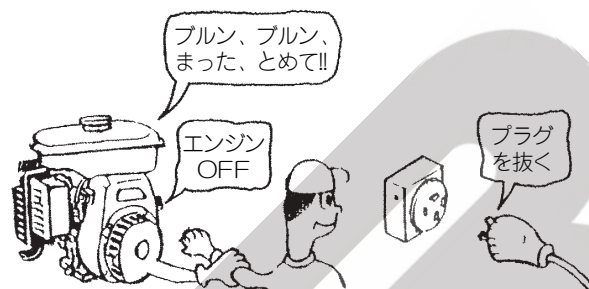


⚠ 注意 安全のため必ずお守りください

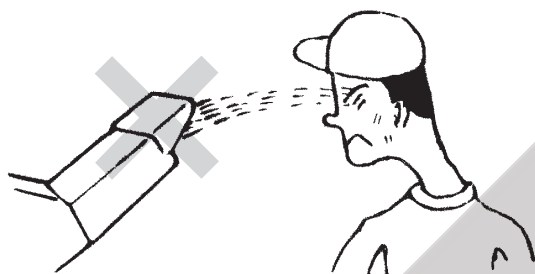
回転中は供給口や吐出口へ
絶対に手を入れない



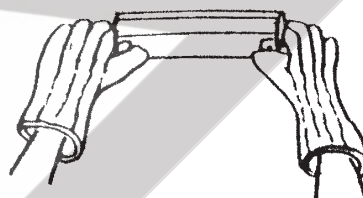
機械から離れる時は必ず
原動機停止



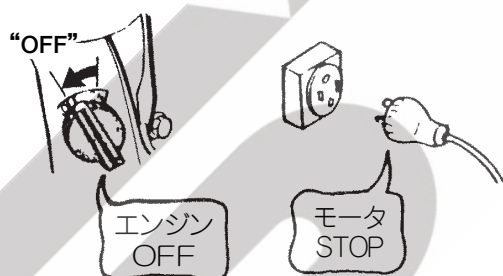
吐出口を人や家畜に向けない



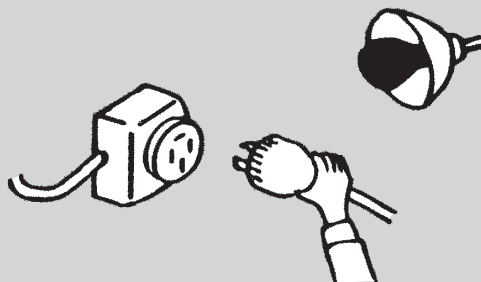
刃物の点検・交換時は厚手の
革手袋着用



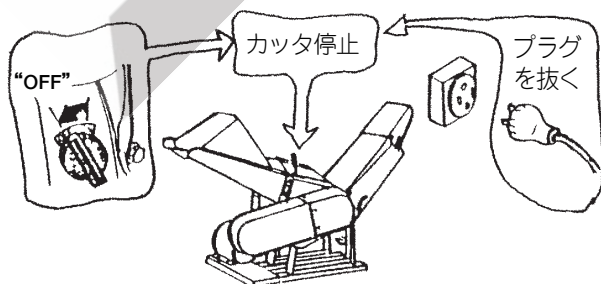
異常発生時はすぐ原動機停止



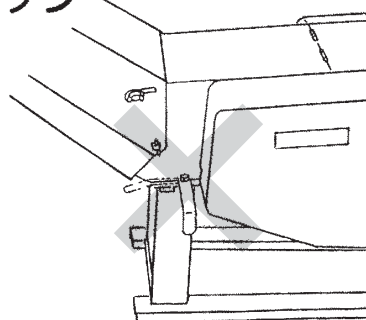
停電やブレーキ作動時はすぐ
スイッチを切る



点検は原動機を停止し、カッタ
が止まってから



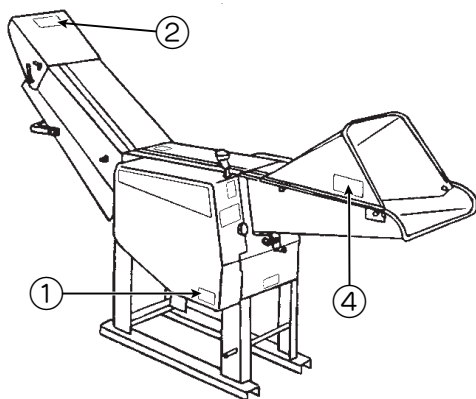
点検以外はロックレバーを必ず
ロック



注意 安全のため必ずお守りください

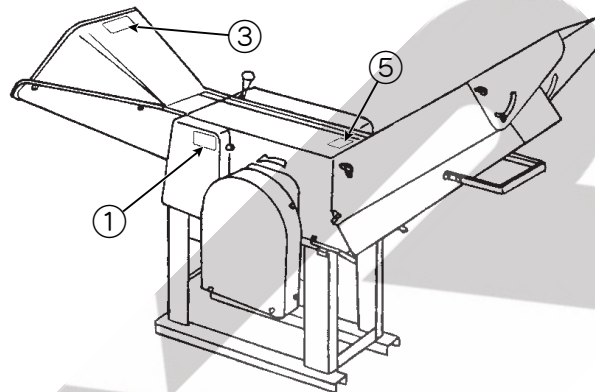
使用前に安全ラベルをよく読む

- カッタには次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解したうえで作業してください。



① 品番 57422-7119-1

	注意 このカバーを外したままで使用しないこと。 中の回転物に巻き込まれることがあります。 57422-7119-1
--	--



② 品番 71168-4121-1

	危険 1. 中の回転刃によりケガをするおそれがあるので、回転中は中に絶対手を入れないこと。動力を切っても回転刃はすぐには止まりません。 2. このカバーを外したままで使用しないこと。
	注意 人や家畜に吐出口を向けないこと。 切断物があたりケガをすることがあります。 71168-4121-1

③ 品番 71168-4118-2

	危険 1. 中のロールによりケガをするおそれがあるので、回転中は中に絶対手を入れないこと。動力を切ってもロールはすぐには止まりません。 2. この供給口を開けたままで使用しないこと。 71168-4118-2
---	--

④ 品番 71131-4117-1

注意 1. 取扱説明書をよく読み、機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。 2. 取扱説明書がない場合は取寄せてください。 3. 必ず動力部の安全カバーを取り付けて使用のこと。 4. 点検整備時は、必ず動力を止めること。 5. 点検整備で取り外したカバー類は、必ず元通り取り付けること。 71131-4117-1

⑤ 品番 71168-4119-1

	危険 1. 中の回転刃によりケガをするおそれがあるので、回転中は絶対にカバーを開けないこと。動力を切っても回転刃はすぐには止まりません。 2. このカバーを開けたままで使用しないこと。 71168-4119-1
---	---

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼付されている部分を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

各部の名称とはたらき

- **上部カバー (安全カバー)**
内部に回転刃があります。

- **供給クラッチ**
クラッチを「入」にすると
供給ロールが回転します。

- **樋力バー (安全カバー)**

- **供給樋**
供給物の供給をおこなう
案内樋です。

- **樋ロックレバー**
供給樋を固定します。

- **ベルトカバー (安全カバー)**
内部にVベルト・ギヤがあります。

- **吐出口 1**
切断物の吐出距離(角度)を調節します。

- **吐出口3 (安全カバー)**
切断物の吐出距離(角度)
を調節します。

- **チェーンカバー (安全カバー)**
内部にチェーンがあります。

- **吐出口2 (安全カバー)**

- **プーリカバー (安全カバー)**
内部にプーリがあります。

- **上部カバーロックレバー**
上部カバーを固定します。

使用前の準備

⚠ 注意

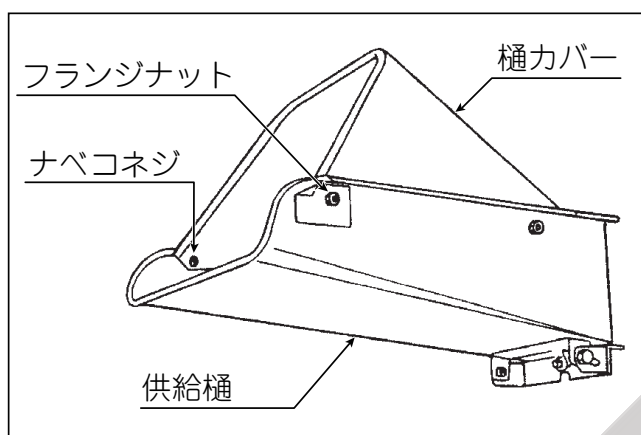
- 準備作業は必ず原動機を停止した状態で行なってください。

1. 供給樋・樋力バーの組付け

① 供給樋に樋力バーを組付ける。

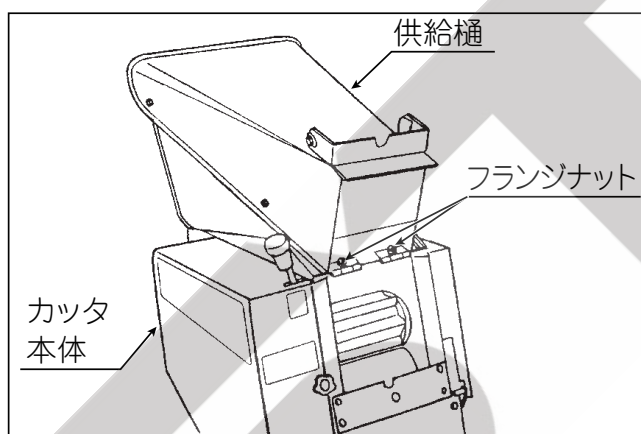
M 6 × 14 ナベコネジ 4 個

M 6 フランジナット 4 個

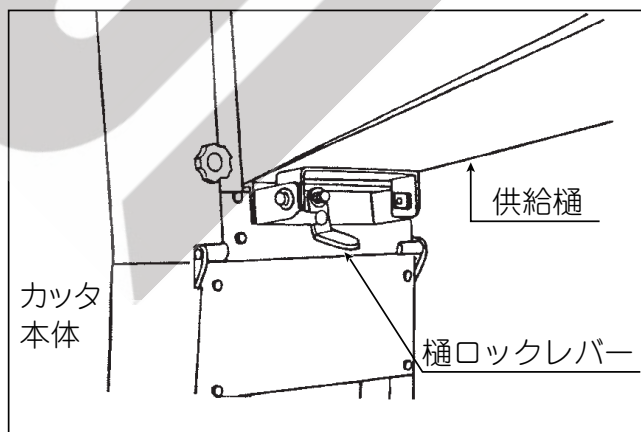


② 供給樋をカッタ本体に組付ける。

M 6 フランジナット 2 個



③ 供給樋の樋ロックレバーでカッタ本体にロックする。



2. 吐出口 1・2・3、持手の組付け

① 吐出口 1・2 をカッタ排出部へ組付ける。

M 6 × 12 蝶ボルト 4 個

M 6 平座金 2 個

M 6 バネ座金 4 個

② 吐出口 3 を吐出口 1・2 に組付ける。

M 6 × 12 蝶ボルト 4 個

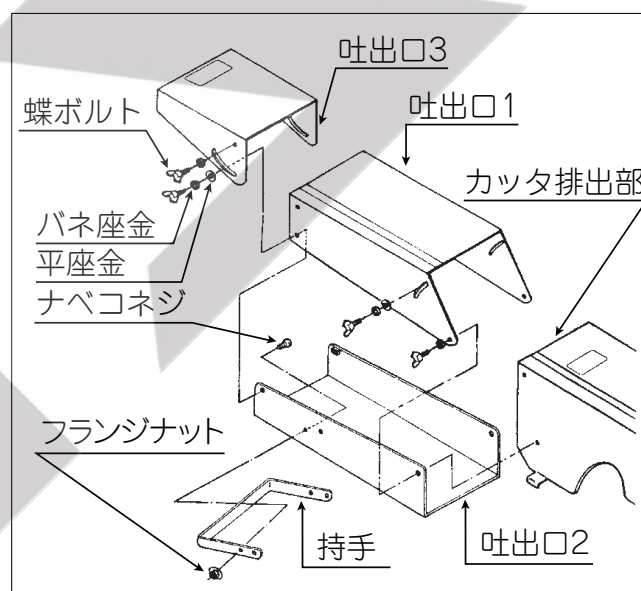
M 6 平座金 2 個

M 6 バネ座金 4 個

③ 持手を吐出口 2 に組付ける。

M 6 × 14 ナベコネジ 4 個

M 6 フランジナット 4 個



注) カッタ梱包枠の脚部角材は、オプションのセットカー (CRS) に搭載するとき、使用します。セットカーを使用する場合は捨てないでください。

(詳細は13頁「オプション」セットカー参照)

3. 設置場所の選定

凹凸のない平坦で水平な場所を選んで設置します。

！ 注意

- 不安定な場所に設置すると、作業中に移動したり、転倒したりする危険があります。
- 作業中はほこり・ごみなどが発生します。通気性の良いところに設置してください。
- 火気のあるところには絶対設置しないでください。切断わらなどに引火し、火災のおそれがあります。

4. 回転数の設定

カッタ主軸回転数は950～1000rpmに設定します。

原動機プーリ径は右表を参照して選定してください。

原動機回転数(rpm)	原動機プーリ径
1400(モータ50Hz)	B-4"
1700(モータ60Hz)	B-3½"
1800(エンジン)	B-3½"

重要

- 1050rpm以上は回転させないでください。回転数が高いと機械寿命が低下します。
- 900rpm以下で回転させますと過乾燥材・湿った生牧草などの難排出材が吐出口で詰まり、作業できない場合があります。

5. 原動機のセット

！ 注意

- 原動機とカッタ間の回転部・伝動ベルトは必ずカバー・ガードなどで危険のないよう防護してください。防護なしで使用すると、回転体に巻込まれケガをすることがあります。
- 原動機にエンジンを使用する場合
 - エンジンの高温部に直接ごみなどがかからないよう、カバーなどで被ってください。高温部にごみがかかると火災の原因となります。
- 原動機にモータを使用する場合
 - 緊急時にすぐに停止できるよう、作業位置の近くにスイッチを設けてください。
 - 火災防止のため、必ずブレーカの設置された電源盤から電源をとってください。
 - 火災防止のため、モータ容量に合った電源コードを使用し、コードの接続は確実に行ってください。
 - 感電防止のため、必ずアースを適切に接続してください。

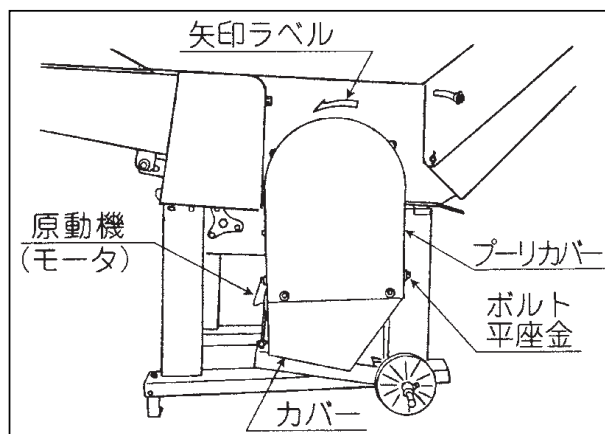
原動機の出力は右表を参照して選定してください。

重要

- これ以上のものを使用すると破損する場合があります。

- ①原動機のプーリを主軸プーリセンタに合わせ作業中移動することのないよう固定します。
- ②原動機をしっかり固定し、ベルトを掛けます。
- ③回転方向をカッタの矢印ラベルに合わせます。
- ④プーリカバーを組付ます。
M 6 × 14ボルト 4 個
M 6 平座金 4 個
- ⑤原動機のプーリとベルトの露出部を危険のないようにカバー・ガードなどで防護します。

	SCR-2110
モータ(KW)	0.4~2.2
エンジン(PS(KW))	5(3.8)以下



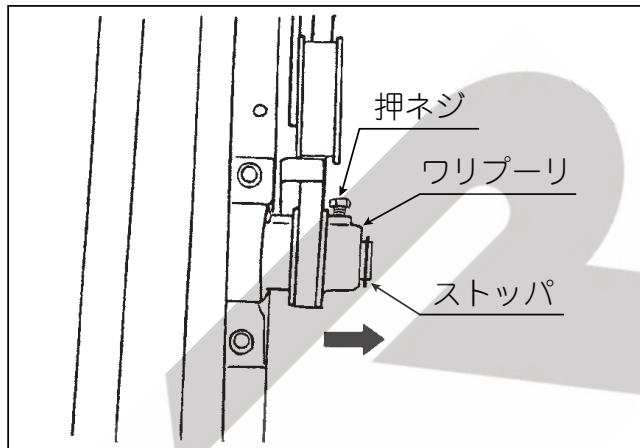
6. 切断長の設定

切断長さは替えギヤ2枚とフリプーリの組合せで4種類の選定ができます。

■フリプーリの切換え

- ①供給クラッチを「切」にします。
- ②フリプーリの押ネジをゆるめフリプーリをストッパに当たるまでスライドします。
- ③フリプーリの押ネジを締付けます。

切断長さ調節表	オプション			
	45mm	90	22	150
押ネジ				
フリプーリ				
ストッパ				
Vベルト				
	T33	T23	T42	T14
	T23	T33	T14	T42



毎日作業前の点検

⚠ 注意

- 点検作業は必ずエンジンを停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。
- 点検で外したカバー類は、必ず元通り取付けてください。

1. 原動機・カッタの掃除

原動機・カッタ及びその周辺のごみ・切屑などを毎日作業前にきれいに取除いてください。
カバー内部のごみ溜まりなども取除いてください。

⚠ 注意

- 原動機の高温部にわらず、ごみなどがあると火災の原因となります。
- 原動機の冷却風の通路がごみなどでふさがると、過熱して火災の原因となります。

2. 刃物の接触

⚠ 注意

- 刃物が接触したり、ボルトがゆるい状態では絶対に回転させないでください。刃物が欠けて飛散し、傷害事故になることがあります。

- ①カッタの主軸を手でゆっくりと回転し、回転刃と回転刃の接触がないか確認する。
接触があれば、すき間調節してください。(P 11参照)
- ②刃物取付ボルトがゆるんでいないか確認する。もし、ゆるんでいるときは締付けてください。
そのほかのボルト、ナットのゆるみなど異状がないか確認し、異状があればそのまま使用せず、すぐに処置してください。(P 10参照)

作業のしかた

⚠ 危険

- カッタ回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないでください。中の回転刃で大ケガをします。

⚠ 注意

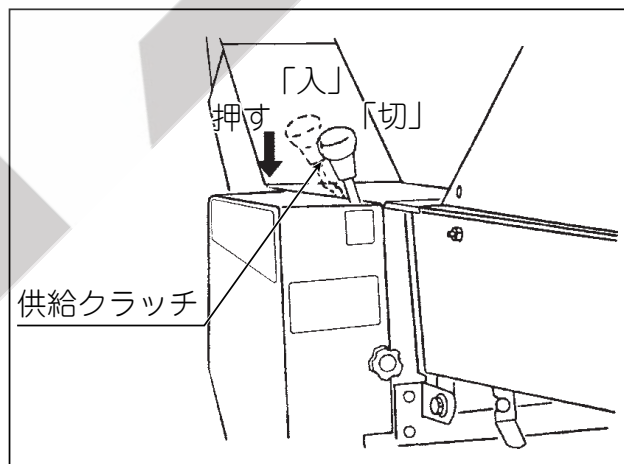
- カバー類を外したままで回転させないでください。回転体に巻込まれてケガをします。
- 排出口を人や家畜及び火気に向けないでください。切断物が飛散して傷害事故や火災になることがあります。
- カッタ回転中は周囲に人を近づけないでください。特にお子さんに注意してください。
- 作業中に詰まりなどの異状が発生した場合は、すぐに原動機を停止し、カッタの回転が止まってから点検してください。
- 機械から離れる場合は、必ず原動機を停止してください。
- 作業中に停電または電源ブレーキが作動してモータが停止した場合は、すぐにスイッチを切るか、プラグを抜いてください。通電状態で電気が復帰すると、突然カッタが回転し、大変危険です。
- 供給樋、上部カバーのロックレバーは必ずロックして回転してください。ロックしないとカバーが開きケガをするおそれがあります。
- 作業場所の換気と明るさに注意してください。

1. カッタ作業

⚠ 注意

- 周囲の安全をじゅうぶん確認してから始動してください。原動機の始動と同時にカッタも回転します。
- 必ず供給クラッチを「切」にしてから、始動してください。

- ① 原動機を始動します。
- ② 供給クラッチを「入」にします。
- ③ 供給物を供給桶に載せ、供給します。



⚠ 危険

- 軍手は使用しないでください。供給ロールに巻込まれて大ケガをするおそれがあります。
- 供給物を引っ張ったり、押込んだり、付着物を手で取ったりすることは絶対にしないでください。
- 供給物に異物（石・工具・金属など）が混入しないように注意してください。突発的に思わぬ方向に飛散し、事故につながる可能性があります。

重要

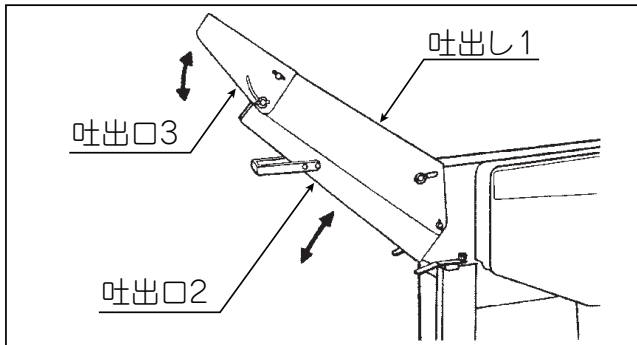
- 直径20mm以上の残幹は絶対に供給しないでください。カッタが破損するおそれがあります。
- わら束が大きい場合は半分ずつずらして供給してください。
- 梱包牧草はよくほぐし、くい込みやすいように先端を薄くして供給してください。

2. 放出距離の調節

⚠ 注意

- 排出口の調節は必ず原動機を停止してから行なってください。

切断物の放出距離は吐出口 1・2、吐出口 3 の角度で調節します。



重要

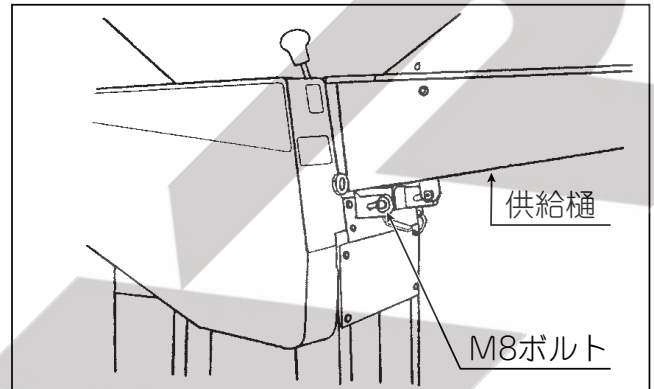
- 切断長120mm、150mm（オプション部品使用時）の場合は、吐出口3を水平より

3. 供給樋の高さ調節

⚠ 注意

- 供給樋の調節は必ず原動機を停止してから行なってください。

供給樋のM8ボルトをゆるめ、作業しやすい高さに調節してください。



定期点検と調節

⚠ 注意

- 点検・調節は必ず原動機を停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。

点検・調節

項 目	参照ページ	実施時間
刃 物	P 10	切れなくなったら

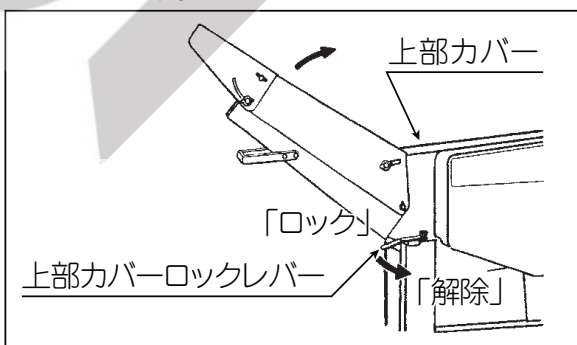
1. 刃物の交換・研磨と調節

⚠ 注意

- 刃物の点検・交換・調節・研磨は厚手の革手袋を着用して行なってください。鋭利な刃先でケガをすることがあります。
- 刃物の交換・研磨時は、必ず刃のすき間を調節して、ネジを確実に締めてください。

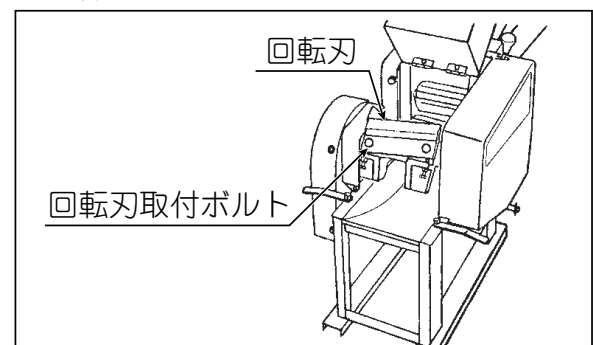
■回転刃の交換

- ① 上部カバーのロックレバーを解除し、上部カバーを開ける。



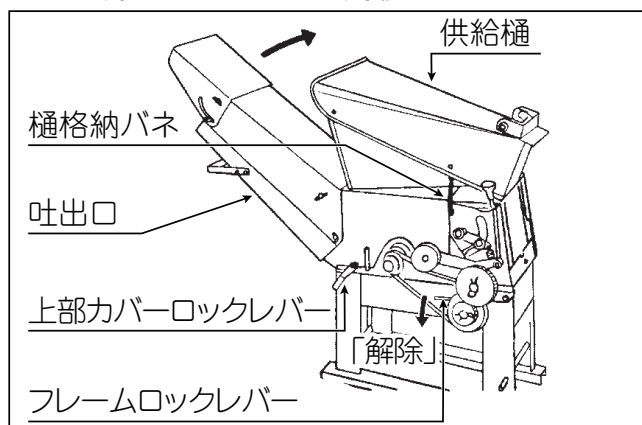
- ② 回転刃取付ボルトを外す。

- ③ 取付けは取付面をよく掃除して、逆の順序で行なう。

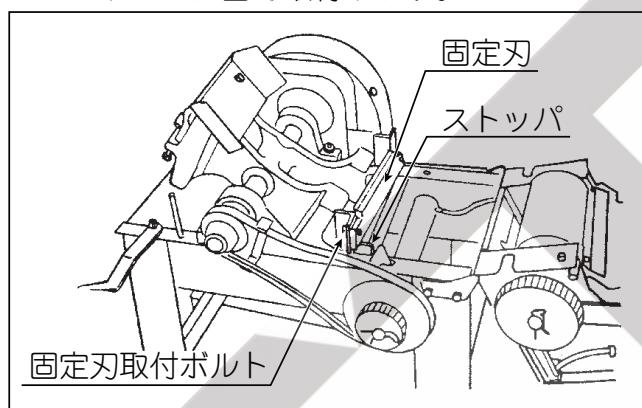


■固定刃の外し方

- ①ベルトカバー・チェーンカバーを開きます。
- ②樋ロックレバーを解除して供給樋を格納します。
- ③樋格納バネを樋カバーの穴部に差込みます。
- ④上部カバーロックレバーを解除します。
- ⑤フレームロックレバーを解除して、吐出口を持ってフレームを開放します。



- ⑥固定刃取付ボルトを外します。
- ⑦取付けは取付面をよく掃除して、固定刃をストッパに当て取付けます。



■刃の研磨

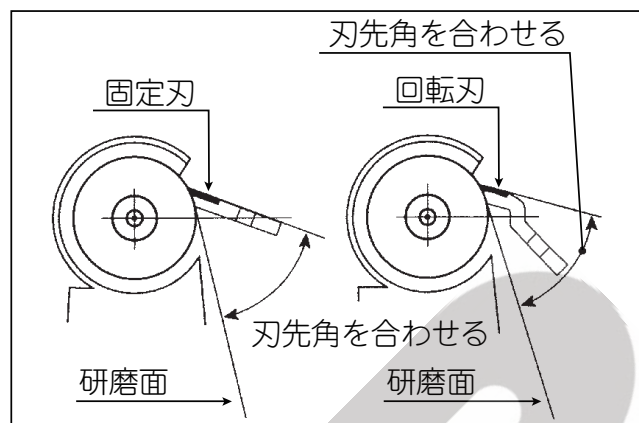
⚠ 注意

- 研磨時は火花が飛びます。必ず保護メガネを着用し、周囲の人・物に注意して安全に行なってください。

研磨機（水砥石）に刃物の刃先角を合わせて研磨します。

重要

- 刃先の研磨面は間違えないでください。
- 回転刃は取外した面に同じ回転刃を取付けてください。すき間調節が楽に行なえます。
- 刃先が焼けないよう注意してください。

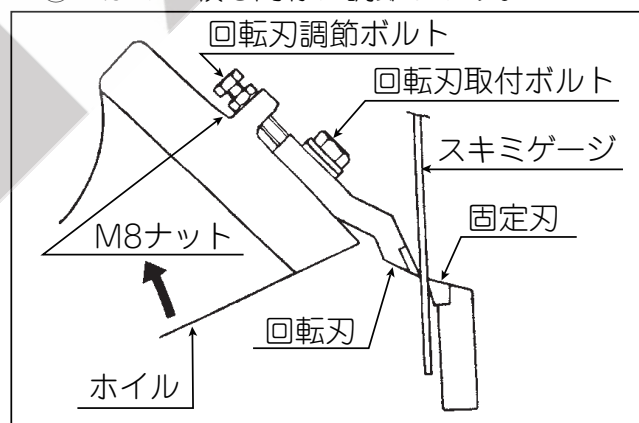


■刃のすき間調節

回転刃と固定刃のすき間は付属品のスキミゲージで0.2～0.3mmに調節します。スキミゲージを固定刃に垂直に当て、回転刃を矢印方向に手で軽く回し、スキミゲージが刃物で軽くはさまれ通過する程度が適正です。

刃のすき間は、刃の両端2箇所を確認してください。

- ①回転刃取付ボルトをゆるめます。
- ②回転刃調節ボルトのM8ナットをゆるめ、回転刃調節ボルトで回転刃を押し出して、すき間を調節します。
- ③すき間調節後は、M8ナット、回転刃取付ボルトを確実に締付けます。
- ④ほかの1枚も同様に調節します。



⚠ 注意

- すき間調節後は必ず手でホイルを逆回転し、刃当たりがないか確認してください。
- 外したカバーは元通りに組付け、ボルトナットは確実に締付けてください。
- 供給樋、上部カバーは確実にロックレバーでロックしてください。ロックしないで作業するとケガをするおそれがあります。

長期格納

注意

- 機械の保管中はお子さんが近よらないよう注意してください。

- ①各カバーを外し、付着・堆積したわらくずなどを取除いてください。
- ②回転刃・固定刃を油ぶきしてください。また各回転部・支点・カバー内のテンションアーム支点部に注油し、錆びないようにしてください。
- ③ボルト・ナットなどのゆるみを調べ、ゆるんでいれば締付けてください。
- ④風雨のあたらない、ごみのない乾燥した場所へ保管してください。

不調の原因と処置

注意

- 点検・整備は必ず原動機を停止し、カッタの回転が止まってから行なってください。

現 象	原 因	処 置
供給物が喰い込まない。	束が大きい。	束を半分ずらす。
	供給量が多い。	供給量をへらす。
	小枝が広く張った残幹。	供給口の幅に合わせ枝を切る。
	残幹が太い（直径20mm以上）	直径20mm以下にする。
切断部で詰まる。	供給量が多い。	供給量をへらす。
	カッタベルトスリップ。	ベルトを張る。
	原動機の容量が小さい。	容量を上げる。
	回転数が低い。	回転数を高くする。
	刃物が磨耗し、切れ味が悪い。	研磨する。
	回転刃・固定刃のすき間が大きい。	刃のすき間を調節する。
吐出口で詰まる。	回転数が低い。	回転数を高くする。
	刃物が磨耗し、切口が連なり長いものが混じる。	研磨する。
	吐出口の先端の押さえ過ぎ。	吐出口 3 を開く。
	材料が軽く飛ばない。	排出口を上げる。
	湿った材料が付着する。	排出口を下げる。
切断長が長い。	回転刃・固定刃のすき間が大きい。	刃のすき間を調節する。
	刃物が磨耗し、切れ味が悪い。	研磨する。
切断長が短い	供給量が多く、ロール部で停滞している。	供給量を少なくする。
異音、騒音がする。	油切れ。	注油する。
	ネジのゆるみ。	締付ける。

仕 様

型 式	S C R - 2 1 1 0	
機 体 寸 法	全 長(mm)	1640
	全 幅(mm)	494
	全 高(mm)	973
総 重 量(kg)	70	
口 ー ル 幅(mm)	210	
所 要 動 力 {PS(KW)}	1(0.75)~2(1.5)	
毎 時 能 力 (kg/h)	2800	
は ね 出 し 機 構	シリンダタイプはね出し型	
は ね 出 し 距 離 (m)	6	
切 断 寸 法 (mm)	35・45・70・90	
切 断 寸 法 切 換 機 構	歯車交換式+ワリプーリ	
伝導部	主軸回転数(rpm)	950~1000
	クラッチ機構	テンションクラッチ式

※本仕様の毎時能力は、乾燥稲わらの切断長さが90mmの場合です。

※はね出し距離は、乾燥稲わらの切断長さ90mmの場合です。生牧草類などの場合は、記載仕様の1/2~1/3の距離になります。

※この仕様は、改良のため変更することがありますのでご了承ください。

オプション

この機械には次のオプションがあります。もよりの販売店・農協でお求めのうえご使用ください。

■モータベース

モータを内蔵でき、安全に作業できます。
車輪がついていますので移動が楽です。

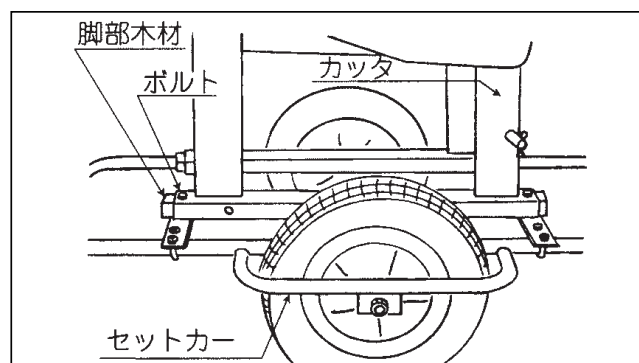
品 番	品 名
71826-00000	モーターベース(CR-M1)

M 8 × 60 ボルト	4 個
M 8 平座金	4 個
M 8 バネザガネ	4 個
M 8 ナット	4 個

■切断長切換えギヤ

下記のギヤを組合せて切断長を17・22・120・150mmの切り替えできます。

品 番	品 名
71168-91101	カエギヤ、アッシ (T14とT42ギヤのセット)
71168-91111	T 14ギヤ
71168-91121	T 42ギヤ



■セットカー

エンジン・モータをセットでき、移動できます。

品 番	品 名
17112-00000	セットカー (CRS)

1. セットカーへの取り付け

カッタをセットカーに乗せ、脚部に梱包枠の脚部木材、又は高さ3cmの木材を差込んで固定する。

! 注 意

- セットカーには原動機のプーリ、ベルトの回転部を防護するカバー、ガードなどは入っていません。ご使用者自身で別途準備してください。
- 回転部は危険のないよう、必ずカバー、ガードなどで防護してください。

安全説明確認カード

説明者（販売店・農協）控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名



販売店・農協名

担当者

型 式

製造番号

【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。	
3. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。	
4. 原動機とカッタ間の回転部は必ずカバー・ガードなどで防護すること。	
5. 水平でしっかりと安定した場所へ設置すること。	
6. エンジンの場合は高温部をカバーで被うこと。	
7. モータの場合は、作業位置の近くにスイッチを設けること。 ●ブレーカの設置された電源盤から電源をとること。 ●モータ容量に合った電源コードを使用し、接続は確実に行うこと。 ●アースを適切に接続すること。	
8. 毎日作業前に点検・掃除を行なうこと。	
9. カバー類は必ず取付けてから回転すること。	
10. 供給樋、上部カバーのロックレバーは必ずロックすること。	
11. 原動機の始動は周囲の安全を確認してから行なうこと。	
12. カッタ回転中は周囲に人を近づけないこと。	
13. カッタ回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。	
14. 吐出口を人や家畜・火気に向けないこと。	
15. 供給物を引っ張ったり、押込んだりしないこと。	
16. 作業中に異状が発生したときは、すぐに原動機を停止すること。	
17. 供給物に異物が混入しないように注意すること。	
18. 機械から離れるときは、必ず原動機を停止すること。	
19. 作業中に停電またはブレーカが作動したときは、すぐに電源コードを抜くこと。	

【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整は原動機を停止し、カッタの回転が止まってから行なうこと。	
2. 刃物を点検・整備するときは、厚手の革手袋を着用すること。	
3. 保管中はお子さんに触れさせないこと。	

STARR

安全確認一覧表

基本事項

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

作業について

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の換気と明るさに注意をはらうこと。
3. 作業に合った服装で行なうこと。軍手は使用しないこと。
4. 原動機とカッタ間の回転部は必ずカバー・ガードなどで防護すること。
5. 水平でしっかりと安定した場所へ設置すること。
6. エンジンの場合は高温部をカバーで被うこと。
7. モータの場合は、作業位置の近くにスイッチを設けること。 ●ブレーカの設置された電源盤から電源をとること。 ●モータ容量に合った電源コードを使用し、接続は確実にすること。 ●アースを適切に接続すること。
8. 毎日作業前に点検・掃除を行うこと。
9. カバー類は必ず取付けてから回転すること。
10. 供給樋、上部カバーのロックレバーは必ずロックすること。
11. 原動機の始動は周囲の安全を確認してから行なうこと。
12. カッタ回転中は周囲に人を近づけないこと。
13. カッタ回転中は供給口・排出口の中に絶対手を入れないこと。
14. 吐出口を人や家畜・火気に向けないこと。
15. 供給物を引っ張ったり、押込んだりしないこと。
16. 作業中に異状が発生したときは、すぐに原動機を停止すること。
17. 供給物に異物が混入しないよう注意すること。
18. 機械から離れるときは、必ず原動機を停止すること。
19. 作業中に停電またはブレーカが作動したときは、すぐに電源コードを抜くこと。

点検・格納について

1. 点検・調整は原動機を停止し、カッタの回転が止まってから行なうこと。
2. 刃物を点検・整備するときは、厚手の革手袋を着用すること。
3. 保管中はお子さんに触れさせないこと。

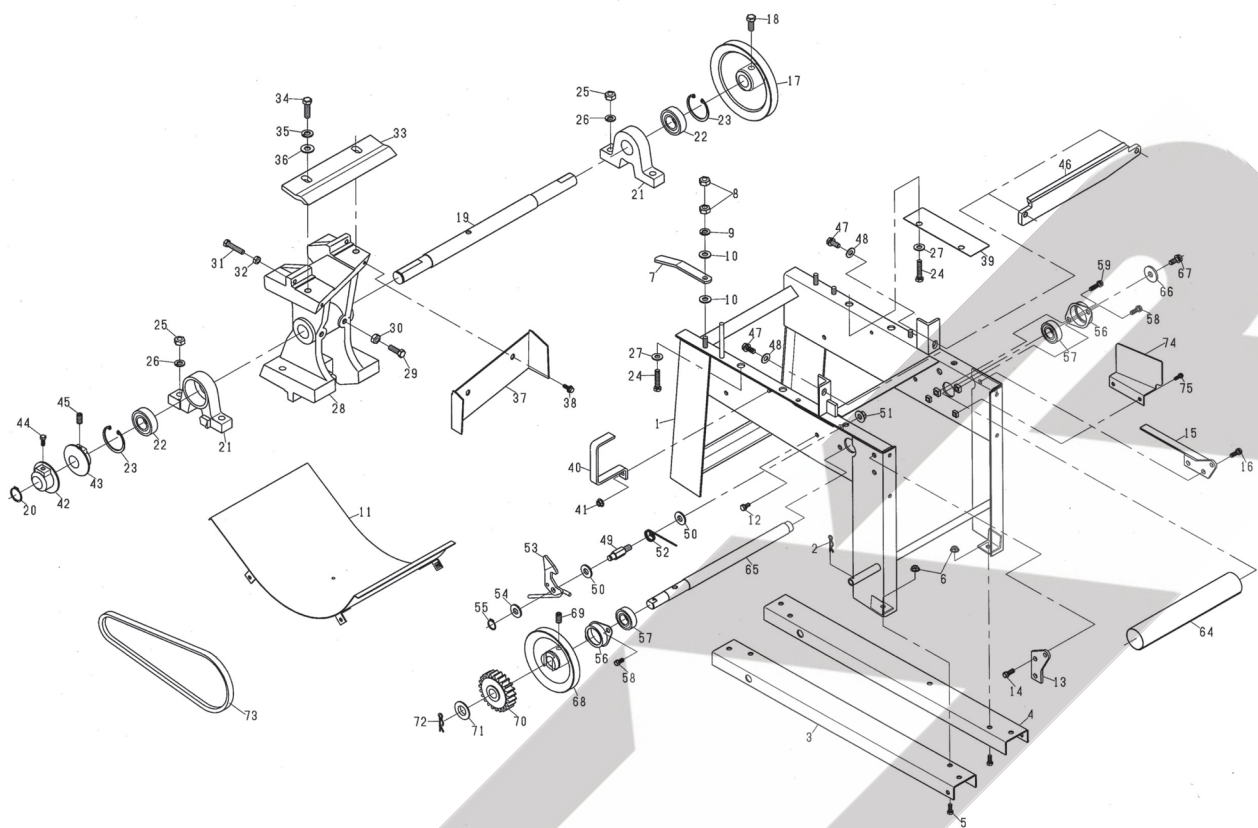
STARR

部品表



SCR2110 シリンダカッター

駆動・切断部関係



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	71103-11114	ベース	1	
2	05525-51400	スナップピン	1	呼14
3	71103-11161	ドダイヒダリ	1	
4	71103-11171	ドダイミギ	1	
5	01153-50816	ボルト	4	M8×16
6	02121-50080	ナット	4	M8フランジナット
7	71122-11121	カム1	2	
8	02112-50080	ナット	4	M8
9	04512-50080	バネザガネ	2	M8
10	51161-74561	ヒラザガネ(8.5-22)	4	
11	71103-11131	カバー(カブ)	1	
12	01023-50614	ボルト	4	M6×14
13	71168-11141	オープンシテンヒダリ	1	
14	01123-50816	ボルト	2	M8×16
15	71168-11151	オープンシテンミギ	1	
16	01123-50816	ボルト	2	M8×16
17	71168-11211	Vプーリ(157)	1	
18	01173-51225	ボルト	1	M12×25(P1.25)
19	71103-11221	シュジク	1	
20	04612-00250	ジクサークリップ	1	S-25
21	71168-11231	シュジクウケミギ	2	
22	71168-11171	ボールベアリング(6205)	2	6205LLU
23	04611-00520	アナサークリップ	2	R-52
24	01173-51040	ボルト	4	M10×40(P1.25)
25	02118-50100	ナット	4	M10(P1.25)

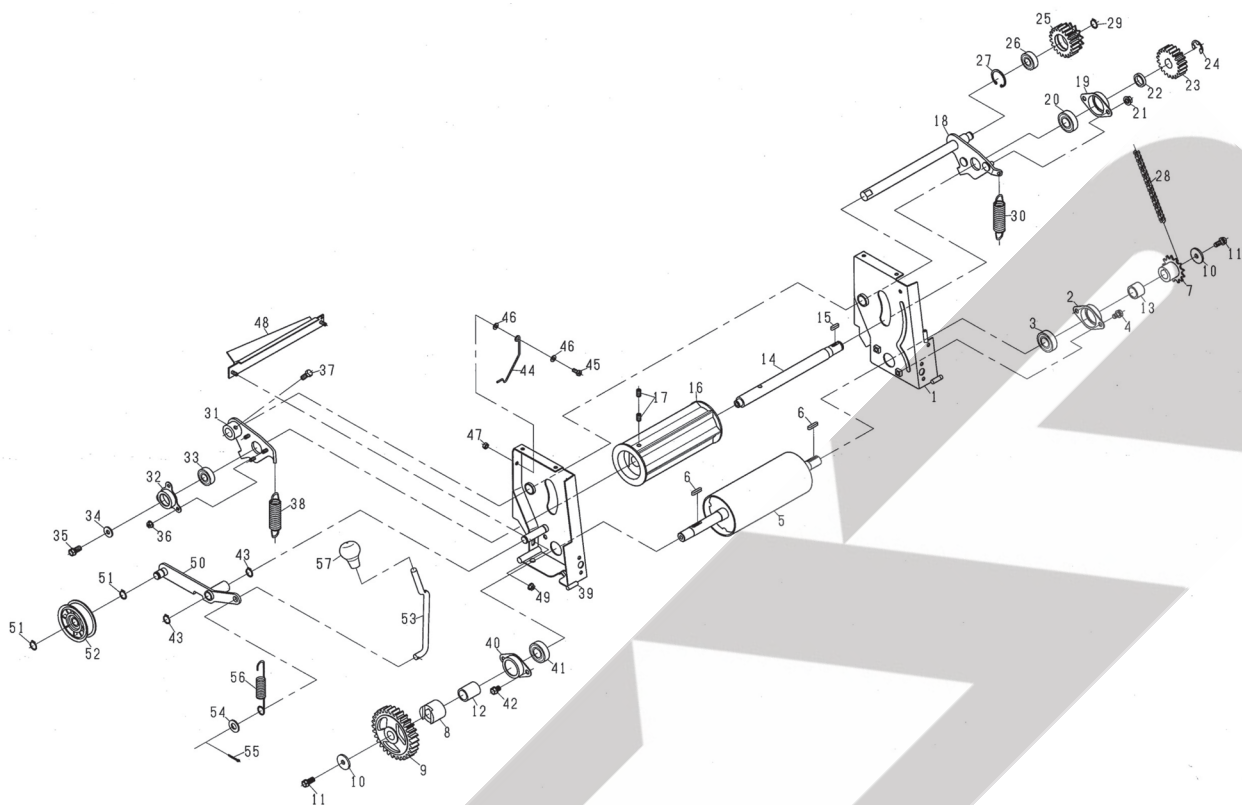
SCR2110 シリンダカッター

駆動・切断部関係

見出番号	部 品 番 号	部 品 名 称	個数	備 考
26	04512-50100	バネザガネ	4	M10
27	04011-50100	ヒラザガネ	4	M10 (φ18×t2.0)
28	71168-11241	ホイール	1	
29	01152-51030	ボルト	2	M10×30 (P1.5)
30	02012-50100	ナット	2	M10 (P1.5)
31	71137-11211	ボルト (8-40)	4	
32	71218-13261	ナット (M8)	4	
33	71103-11231	セツダンバ	2	
34	01150-51240	ボルト	4	M12×40 (P1.75)
35	04512-50120	バネザガネ	4	M12
36	04011-50120	ヒラザガネ	4	M12 (φ22×t2.6)
37	71103-11291	ハイシュツハネ	2	
38	01025-50616	ボルト	4	M6×16
39	71168-11261	カバー (シュジク)	1	
40	71168-11321	ガイド (ベルト)	1	
41	02021-50060	ナット	1	M6フランジナット
42	71168-11291	ワリプーリ	1	
43	71168-11251	プーリ (2、ワリ)	1	
44	01153-50820	ボルト	1	M8×20
45	03650-00815	トメネジ	1	M8×15 (平先)
46	71103-11411	ウケバ	1	
47	01133-51020	ボルト	2	M10×20 (P1.25)
48	04011-50100	ヒラザガネ	2	M10 (φ18×t2.0)
49	71168-11513	シャフト (ロックシテン)	1	
50	04011-50100	ヒラザガネ	2	
51	02131-50100	ナット	1	M10 (P1.25) フランジナット
52	71122-11523	ロックバネ	1	
53	71168-11532	カナグ (ロック)	1	
54	57611-21291	25ザガネ	1	
55	04612-00100	ジクサークリップ	1	S-10
56	71168-11611	ケース (ベアリング、6004)	2	
57	PN701-55411	ベアリング (6004)	2	6004LLU
58	01123-50816	ボルト	4	M8×16
64	71103-11651	カバー (シャフト)	1	
65	71103-11631	シャフト (チュウカン)	1	
66	57531-51191	32ザガネエイ	1	
67	01123-50820	ボルト	1	M8×20
68	71168-11641	プーリ (チュウカン)	1	
69	03671-01014	トメネジ	1	M10×14 (クボミ先)
70	71212-11635	T23ギヤ	1	
71	71115-11321	チョウセツザガネ	1	
72	71115-11681	スナップピン	1	
73	14112-11872	Vベルト	1	LA-#31
74	71168-11811	カバー (シャフト、チュウカン)	1	
75	01023-50614	ボルト	2	M6×14

SCR2110 シリンダカッター

食込部関係



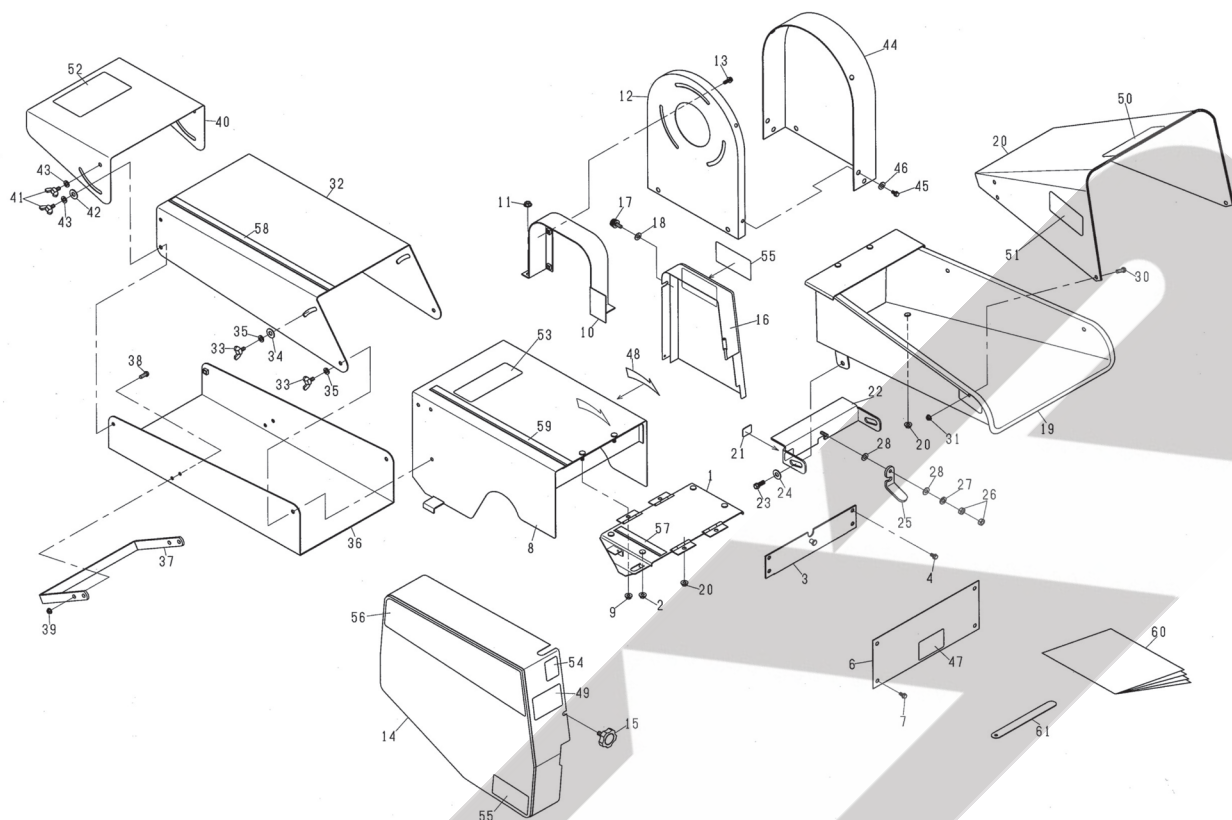
見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	71168-21111	フレーム (ミギ)	1	
2	71168-11611	ケース (ベアリング、6 0 0 4)	1	
3	PN701-55411	ベアリング (6 0 0 4)	1	6004LLU
4	01123-50812	ボルト	2	M8×12
5	71103-21211	ロール (ヒラ)	1	
6	05712-00525	フェザキー	2	
7	71168-21231	スプロケット (1 3)	1	
8	71168-21221	ボス (ギヤ)	1	
9	71212-11645	T 3 3 ギヤ	1	
10	57531-51191	3 2 ザガネエイ	2	
11	01123-50820	ボルト	2	M8×20
12	71168-21242	カラー (3 4. 2)	1	
13	71168-21252	カラー (1 9. 4)	1	
14	71103-21311	シャフト (ヨコサンロール)	1	
15	05712-00517	フェザキー	1	5×5×17
16	71103-21361	ロール (ヨコサン)	1	
17	03651-00815	トメネジ	2	M8×15 (クボミ先)
18	71103-21321	ブラケット (RH、ヨコサンロール)	1	
19	71168-11611	ケース (ベアリング、6 0 0 4)	1	
20	PN701-55411	ベアリング (6 0 0 4)	1	6004LLU
21	02121-50080	ナット	2	M8フランジナット
22	71168-11791	カラー (5. 4)	1	
23	71168-21341	オクリギヤ 2	1	
24	04613-50150	ジクサークリップ	1	E-15
25	71168-21421	オクリギヤ 1	1	

食込部関係

- 4 -

SCR2110 シリンダカッター

カバー・マーク関係



見出番号	部品番号	部品名称	個数	備考
1	71103-31112	カバー（１、フレーム）	1	
2	02021-50060	ナット	4	M6フランジナット
3	71103-31122	カバー（２、フレーム）	1	
4	01023-50616	ボルト	4	M6×16
6	71103-31191	カバー（ベース）	1	
7	01023-50614	ボルト	4	M6×14
8	71103-31141	カバー（ジョウブ）	1	
9	02021-50060	ナット	2	M6フランジナット
10	71168-31151	ベース（プーリカバー）	1	
11	02121-50080	ナット	2	M8フランジナット
12	71103-31131	カバー（２、プーリ）	1	
13	01025-50616	ボルト	3	M6×16
14	71168-31211	カバー（ベルト）	1	
15	71122-31212	ノブボルト	1	
16	71122-31183	チェーンカバー	1	
17	53415-41281	ジュシボルト	1	
18	57471-51171	１９マルザ	1	
19	71103-52111	トイ（キョウキュウ）	1	
20	02021-50060	ナット	4	M6フランジナット
21	71168-51131	ストッパ（ヒラゴム）	2	
22	71103-51121	トイフゾク	1	
23	01123-50820	ボルト	2	M8×20
24	51161-74561	ヒラザガネ（８．５－２２）	2	
25	71122-51131	カム２	1	

カバー・マーク関係

- 6 -

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233